校種：小学校　　対象学年：４年　　人権課題：性の多様性

「自分らしさ」について考えてみよう

**１　教材について**

　　性の多様性については、レインボーパレードやパートナーシップ制度が世界中で広がり、その理解が深まってきている。学校現場においても、子どもの約８％が性的少数者（セクシュアルマイノリティ）であるという文部科学省の発表により、制服や校則の見直しなども含め、対応が求められてきている。（2022年度現在）

　　性の有り様は一人ひとり違っており、自分らしい性は一つの個性であると捉えられる。ということは、子どもたちが安心して自分らしく生活できる学校・社会を実現していくために性の多様性についての教育活動をすすめていくことは不可欠なものになってきている。

　　性の多様性に関する学習において、「ＬＧＢＴｓ」というテーマですすめた場合、子どもたちは「性的少数者のことであり、自分たちには関係ない」と捉えたり、逆に性的少数者の子どもたちが生きづらくなってしまったりする恐れがある。しかし、性を「心の性」「体の性」「好きになる性」「表現する性」で捉え、性の有り様は一人ひとり違うのだという「ＳＯＧＩＥ（ソジー）」をテーマにした場合には、「自分らしい性」を考えることになり、すべての子どもたちが自分事として捉えることができるのではないかと考える。

　　そこで、本教材を作成するにあたっては、性は「自分らしさ」を形づくる一つの要素であることを学び、自分の性に違和や不安を感じたときに安心して相談できる学級にしていくことを学習の目標とした。

　　性の多様性についての学習をすすめていく際には、まず教職員の研修が不可欠である。「性の捉え方」「子どもの困り感」「社会の現状」などについて、別途職員研修プランも作成しているので、ぜひ活用してほしい。また、保護者・地域の中には、学校で性の多様性についての学習をすすめていくことに対する異論や抵抗の声があがることも考えられる。「全ての子どもたちが安心して生活できる学校にすること」「いわゆる『男らしさ』『女らしさ』を否定しているのではなく、そこに『自分らしさ』という視点を加えるだけなのだということ」などを丁寧に説明するとともに、法務省や関係団体が作成している学習のための動画なども積極的に活用し、保護者・地域啓発についても並行して取り組んでいくことが望ましいと考えている。佐賀県においても、2021年８月に「佐賀県パートナーシップ宣誓制度」がスタートし、同性のパートナーを家族として認定する環境が整えられ始めている。唐津市でも同様の制度が導入されており、この制度は全国的に広がってきている（2022年１月現在で、全国147自治体で導入済み）。このような社会の動きについても、学校から積極的に発信していきたい。

**２　実践のポイント**

　〇　本学習の導入では、金子みすゞの「わたしと小鳥と鈴と」を使っている。それは、本時の学習内容である「自分らしい性」について、笑ったり、からかったりすることがないようにしたいというメッセージを込めている。

　○　性の捉え方について学習する段階では、性は「自分らしさ」を構成する要素の一つであり、みんなちがっていてあたりまえなものの1つであるという前提に立ってすすめている。そして、「自分らしい性」を考えていく際には、「心の性」「体の性」「好きになる性」「表現する性（言葉遣い、身なり、持ち物など）」の視点から考えていけば良いことを伝えていく。この4つの視点はワークシートの中にも載せているが、授業の中で子どもに記入をさせることはしない。自分の性の有り様は、プライバシーの一つでもあり、安易に人に知らせるものではないからである。

　○　授業の中心発問としては、自分の性に違和や不安を感じたときに、誰かに相談するか、しないかという問いを設定している。この発問の意図は、「相談しない」と答えた子どもの理由を出し合うことで、何が相談することをためらわせるのかということを子どもたち自身が気づくためである。その後、誰もが安心して相談しやすい学級にするためのヒントを提示していくようにしている。

　○　授業の週末には、パートナーシップ条例や制服・校則の見直しなど、性の多様性を尊重するような社会・学校の動きが進んできていることを知らせていきたい。

　○　体育（保健）の授業で扱う際には、「思春期になると異性に興味を持ち始める」という記述をしている教科書もあるため、実際は同性に興味を持ったり、どちらにも興味を持たない人も当然いることにふれておきたい。

**３　教科等における活用例**

**〇　道徳科**

　　　道徳科の授業として実施する場合には、価値項目はB(10)「相互理解、寛容」で実施し、性の多様性をあたりまえのことと捉える人権感覚を育むことをめざす。

**〇　体育**

体育で実施する場合には、Ｇ保健(2)「体の発育・発達」にあわせて取りあげ、「自分と他の人では発育・発達に違いがあることに気付き、それらを肯定的に受け止める（学習指導要領４年）」ことをめざし、「不安や悩みへの対処には、相談するなどいろいろな方法があること（学習指導要領５年）」までも踏まえて実践を行う。

**４　実践を通して育みたい資質・能力**

|  |  |
| --- | --- |
| 知識的側面 | ・性は、「男」「女」の2択ではなく、4つの視点から考える多様なものであることを理解する。  ・性の多様性を尊重する社会や学校の動きや取組があることを理解する。 |
| 価値的・  態度的側面 | ・自分の性の有り様を自分らしさの一つとして捉え、どんな性でも安心して相談したり生活したりできるような学校にしたいという気持ちをもつことができる。 |
| 技能的側面 | ・誰もが相談しやすい学級をつくるためのルールについて理解し、それを実行しようとすることができる。 |

「自分らしさ」について考えてみよう

**５　実践する教科等**

　　小学校　第４学年　道徳科

**６　本時の目標**

|  |
| --- |
| **性は多様なものであり、「自分らしい性」を個性の一つとして大切にしようという意識をもつとともに、みんなが安心して相談したり生活したりできる学級にしたいという意欲をもつ。** |

**７　展開例**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動と主な発問（☆） | 予想される子どもの反応 | 教師の支援・指導 |
| つかむ | **１　「わたしと小鳥と鈴と」の詩にふれ、「自分らしさ」について考える。**  ☆まず、みんなでこの詩を読んでみましょう。  ☆この詩には、誰が出てきましたか。それぞれができることは何でしたか。  ☆「先生は、この詩に付け加えたいことがあります。それは、『でも、“まちがい”はみんなでなくしていこう』です。“まちがい”とは何だと思いますか。 | ・「わたし」「小鳥」「鈴」  ・えー、覚えてない。  ・地面を速く走れる。  ・唄をたくさん知っている。  ・空を飛べる。  ・きれいな音が出せる | ○　詩にふれた後に、「できること・できないこと」はみんなちがっていてあたりまえだし、それが「自分らしさ」であることを確認する。そして、次のように話す。  ○「みんなちがってみんないい」けれど、そのちがいをバカにしたり、からかったりすることは“まちがい”だと思っていることを子どもたちに投げかける。 |
| 考える | **２　本時の学習のテーマを知り、「自分らしい性」について考える。**  ☆では、今日は「自分らしさ」について考えていきましょう。「自分らしさ」というのは「みんなちがっていてあたりまえのもの」と言い換えることもできます。では、「みんなちがってあたりまえのもの」ってどんなものがあるでしょうか。 | ①できること・できないこと  ②すきなこと・きらいなこと  ③性格  ④体つき・体質  ⑤家族・ふるさと  ⑥性 | ○　学習のテーマを知らせ、パワーポイント資料を使いながら、「みんなちがっていてあたりまえのもの」を６つ考えさせる。 |
|  | ☆「自分らしい性」とは、どんなことかみてみましょう。  ①こころの性  ②からだの性  ③好きになる性  ④表現する性 |  | ○　パワーポイント資料を使いながら、「心の性」「体の性」「好きになる性」「表現する性」について紹介する。  　※図にある「男らしい」「女らしい」は絶対的なものではなく、あくまでそれぞれの主観的なものでいいことを押さえる。  ○　この４点で考えると、性も一人ひとり違うものであることを感じさせる。  　※子どもたちにこの図に書き込ませたりすることはしない。したい子どもには、家などで自分一人で考えるよう伝える。（人に見せるものではない。） |
|  | **３　安心して相談できる学級にするための方法について考える。**  ☆先生の友だちは、自分の性が他の人とは違うんじゃないかと、とても悩んだことがあるそうです。みなさんが、そんな不安を感じたら誰かに相談しますか。相談しませんか。相談する人は誰に相談するか、相談しない人はなぜ相談しないのか、その理由をワークシートに書いてみましょう。  ☆先生は、みんなが相談しやすくなる方法を習ってきたので、教えますね。 | ・相談する  →家族、先生、友だち  ・相談しない  →嫌なことを言われそう。  →バカにされそう。  →わかってもらえない。  →いじめられそう。  ①相談されたら、まず「話してくれてありがとう」と伝える。  ②相談されたことを、勝手に他の人に話さない。  ③性のことや、好きな人のことでからかったりしない。 | ○　まず、一人ひとりにワークシートに記入させる。教師は、子どもたちの回答を見て回り、回答をメモしていく。  ○　教師がメモした回答を紹介し、共有する。まわりの人の対応が相談しにくくさせてしまうことを確認する。  ○　紹介した後に、これを学級のルールにしたいという提案を子どもたちにする。子どもたちの了解が得られたら、後から教室内に掲示することを知らせ、実践してみたいという気持ちを高める。 |
| まとめる | **４　性の多様性についての学校や世の中の動きについて知る。**  ☆　今日は「自分らしさ」特に「自分らしい性」について考えてきました。今、学校や世の中では、この「自分らしい性」を大切にしようという動きが広がってきているので紹介しますね。 | ・学校…ランドセルの色、呼び方、制服  ・世の中…パートナーシップ制度 | ○　性の多様性に対する学校や世の中の動きについて知らせる。  ○　併せて、学校の中にも相談できる先生がいること、図書室には「自分らしい性」について学習できる本もあることを知らせる。 |
|  |
| ふり返る | **５　本時の学習の感想を書く。**  ☆今日の学習で、感じたことをワークシートに書きましょう。質問なども書いていいですよ。 |  | ○　子どもから質問などが書かれた場合には、書いた子どもの気持ちも把握し、必要な回答やアドバイスをする。  ○　相談しやすい学級づくりのための３つの約束の実践に対する意欲を高める言葉かけをして授業を終える。 |

4年生道徳ワークシート

**「“自分らしさ”について考えてみよう」**

（　）組　名前（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**1　“自分らしさ”（みんなちがって、みんないいもの）**

①

⑥

②

“自分らしさ”

⑤

③

④

**2　“自分らしい性”**

女らしい

男らしい

◆こころの性

男らしい

女らしい

◆からだの性

男らしい

女らしい

◆好きになる性

男らしい

女らしい

◆表現する性

**3　考えてみよう！**

相談する 　→

相談しない 　→

**4　みんなが“自分らしく”いられるヒント**

**①**

**②**

**③**

**補足資料：授業シナリオ（案）（45分）**

**◎道徳「“自分らしさ”について考えてみよう」 　A(4)個性の伸長**

**◎ねらい**

**・性は多様なものであることを知る。**

**・性について相談するときに大切なことを考える。**

**・性の多様性を尊重しようとする社会の動きを知り、感想を書く。**

**(1)導入（10分）**

○みなさんは、この詩を知っていますか？みんなで読んでみましょう。

※ワークシートにも、詩をつけておく。

「私と小鳥と鈴と」　金子みすゞ

私が両手をひろげても、　　　お空はちっとも飛べないが

飛べる小鳥は私のやうに、　　地面を早くは走れない。

私がからだをゆすっても、　　きれいな音はでないけど、

あの鳴る鈴は私のように　　　たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、　みんなちがって、みんないい。

　○この詩は、どんなことを伝えたいのかな。

　　　・みんなちがって、みんないい

　○そうですね。ここに出てくる「私」と「小鳥」と「鈴」は、どこが違いますか。

※子どもに指名する。指名された子どもがわからなかったときは、まわりの子からアドバイスをさせる。

　　　・「私」…地面を速く走れる。たくさん唄を知っている。

　　　・「小鳥」…空を飛べる。

　　　・「鈴」…きれいな音が出せる。

　○この詩は、「できること」「できないこと」は違っていてあたりまえ。違っているから、教え合ったりできる。「みんなちがって、みんないいもの」、それが“自分らしさ”なんだよって教えてくれているんだね。

　○でも、先生はこの詩にあと一行、付け加えたいことがあります。それは、これです。みんなで読んでみましょう。

　　　・「でも、“まちがい”は、みんなでなくしていこう！」

　○この“まちがい”って何だと思いますか？それは、「違っていることをバカにしたり、笑ったりすること」です。“自分らしさ”をバカにされたり、笑われたりすると、“自分らしく”生きられなくなってしまうよね。先生は、このことも忘れないでほしいなと思っています。

　○では、今日はみんなの“自分らしさ”について、少しくわしく考えていきましょう。

学習のテーマ　　　　**“自分らしさ”について、考えてみよう！**

**(2)“自分らしさ”について考える（25分）**

　○金子みすゞさんの詩からわかったように、「みんなちがって、みんないいもの」それが、“自分らしさ”だってわかりましたよね。では、「みんなちがって、みんないいもの」って、どんなものだろう。それは、全部で６個あります。今から、ヒントを出すので、当ててみましょう！

　　まず、①から。分かった人は手を挙げてください。手を挙げた人は、一斉に答えてみましょう。

　　　※パワーポイントの資料を提示し、①～⑥まで一人ひとり違うことを共感させながら、答え合わせをしていく。①～⑥の答えは、ワークシートにも記入させる。

① できること、できないこと

⑥ 性

② すきなこと・きらいなこと

**自分らしさ**

③ 性格

⑤家族・ふるさと

④体つき・体質

　○⑥の「性」は、難しかったですね。「性？」「性って、男と女だけじゃないの？」と思った人もいると思います。では、“自分らしい性”って、どんなものか、先生の性をヒントにしながら、説明しますね。

　○性には、「こころの性」「からだの性」「好きになる性」「表現する性」の４つがあります。この４つを、自分が思う「女らしい」「男らしい」で考えて、自分がどのあたりかを考えていきます。先生の「性」を紹介しますね。

※パワーポイントで提示しながら、説明する。

　　　・先生の「こころの性」は、この辺かなと思います。

　　　・先生の「からだの性」は、男だけど、そんなに男らしい体とは思わないので、この辺かなと思います。

　　　・先生の「好きになる性」は、今は女の人と結婚していますが、男の人を好きになったことがないだけかもしれないので、この辺かなと思います。

　　　・「表現する性」っていうのは、持ち物や服装・しぐさなどのことです。先生の持ち物や服装・しぐさは、この辺かなと思います。

　○みなさんだったら、どこに★マークがつきますか？「よくわからない」「つけられない」とい

　　う人もいるかと思いますが、それでいいんです。“自分らしい性”っていうのは、みんなちがっ

ていていいし、これから変わっていってもいいものなんですね。だから、「性」は女・男の２つではなくて、にじいろのようにいろいろある、それが“自分らしい性”っていうことなんだね。“自分らしい性”って、なんとなくわかってきましたか？

○先生の友だちや知り合いの人の中にも、いろんな“自分らしい性”をもっている人がたくさん

います。例えば、こころとからだの性が違っていたり、同じ性の人を好きになったり、全部

の性の人が好きになれる人、どの性も好きにならない人など、ほんとうに性はいろいろです。今は、自分らしく、幸せに生活されていますが、みんな子どもの頃には「自分は何か他の人とは違うみたい」ととても悩んだそうです。

　○そこで、今日はみんなに聞いてみたいんだけど、「自分の性は、他の人とは何か違うな」って感じたときに、みんなだったら誰かに相談しますか？それとも相談しませんか？「相談する」っていう人は誰に相談するか、「相談しない」っていう人はどうして相談しないのか、その理由をワークシートに書いてみてください。３分経ったら、グループでみんなの考えを紹介し合います。では、まず自分の考えを書いてみてください。

　　　※ワークシートの記入方法を説明する。

　○では、グループの中でお互いの考えを紹介し合いましょう。どんな意見もあっていいので、友だちの考えには「うんうん、なるほどね」とうなずいてあげてくださいね。では、始めてください。

　○では、各グループで出た考えを出し合いましょう。「相談する」と答えた人は、誰に相談すると答えてくれたのか、「相談しない」と答えた人はどんな理由があったのかを紹介してください。

　　　※子どもたちから出された考えを板書していく。

　　　　　板書例）　相談する　…　家族、友だち、先生、・・・

　　　　　　　　　　相談しない　…　バカにされそう、いじめられそう、わかってもらえない、

　　　　　　　　　　　　　　　　　　怒られそう、他の人に言いふらされそう、・・・・

○「相談する」と答えてくれた人からは、いろんな人が出てきましたね。この学校では、先生だけじゃなく、○○先生や□□先生も性についての相談にのってくれます。図書室には、性についての本もあるし、図書室の先生も相談にのってくれるので、相談したいときには遠慮しないで相談してみてくださいね。

○「相談しない」と答えてくれた人の理由をみると、なるほど、そんな人がいると相談できませんよね。先生の友だちや知り合いの人も、同じように思って子どものころ、誰にも相談できなかったっていう人がたくさんいます。これでは、性のことだけじゃなくて、ほかのことも相談できませんよね。みんなが安心して相談できるようにするためには、どうしたらいいと思いますか。

　　　　・バカにしたり、笑ったりしない。

　　　　・他の人に言いふらさない。

　○そうですよね。先生はみんなが安心して相談できるようにするための３つのルールを教えてもらったので、紹介しますね。ワークシートに書いてみてください。

◆相談されたら、まず「話してくれてありがとう」と伝える。

　　　◆相談されたことを、勝手に他の人に話さない。

　　　◆性のことや、好きな人のことでからかったりしない。

　○この３つは、このクラスでもルールにしたいと思っているんですが、どうですか。みんなで相談しやすいクラスや学校をつくっていきましょう。

**(3)「自分らしさ」を大切にしようとする世の中の動き（5分）**

　　○今日は、「“自分らしい性”」について勉強しました。今は学校でも、世の中でも、この“自分らしい性”を大切にしようという動きが広がってきています。

　　○例えば、学校では、

　　　　・ランドセルの色は、何色でもOKになっています。（以前は違っていた。）

　　　　・みんな「○○さん」と呼ぶように、先生たちもしています。

　　　　・制服も自分らしいものを選べる高校も出てきています。

　　○社会では、性に関係なくいろんな仕事ができるようになってきているし、性に悩んでいる人はおとなになったら性を変えることもできます。あとは、「パートナーシップ制度」といって同じ性の人同士、パートナー（家族）として認められる制度が佐賀県でももうすぐできます。あと、相談されたことを勝手に他の人にばらしてはいけないという「アウティング禁止条例」というきまりも全国でできてきています。

　　○こんなふうに、学校でも世の中でも、“自分らしい性”を大切にしようという動きが広がっているんですね。このほかにも、“自分らしい性”を大切にしたいという人は、「ALLY（アライ）」マークをつけて、アピールすることもできます。

○みなさんも、これから“自分らしさ”を見つけて、“自分らしく”生きていけるような世の中をつくっていきましょうね。

**(4)学習の感想を書く（5分）**

○では、今日の道徳の学習で思ったことや、わからなかったこと、もっと聞いてみたいことなどをワークシートに書いてください。

○これで、今日の道徳「“自分らしさ”」についての学習を終わります。

※子どもたちの感想には必ず複数の職員で目を通し、必要な対応があれば行う。